

株主の皆さまへ



第56期 中間報告書

2009年4月1日～2009年9月30日

証券コード：9888



社長メッセージ

日頃、株主の皆さまからは格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年9月のリーマンショック以来の世界的同時不況は当社がビジネスを展開しているステンレス流通業界にも大きな影響を与え、需要が急激に冷え込み、安値による販売競争が激化するなど当社もかつて経験したことのない極めて過酷な経営環境にさらされています。

過去1年間の激変ぶりを見ますと、当社の主力販売商品であるステンレス鋼材は、販売数量が約30%、販売価格も約25%と大きく下落し、連結売上が前年同期比でほぼ半減してしまいました。当社は職位に応じ社員の年間収入を対前年比で約18～50%削減するなど、経費の削減・節約に努めましたが、第2四半期では利益を確保できず大幅な損失を計上せざるを得ませんでした。このような状況下では遺憾ながら中間配当は見送らざるを得ないことを誠に申し訳なく思っております。

下期に入って景気に漸く底打ち感が出始め、最悪期は脱しつつありますが、本格的な回復は来年以降となる見通しです。しかしこの厳しい状況におけるピンチを逆にチャンスととらえ、敢えて中期的・構造的課題の改善・改革に着手する決意をいたしました。外に向かっては、過度に外部環境に左右されない強靱な体質と他社と差別化された機能を充実させる取り組み、内部では社員ひとりひとりが当事者意識を持ち自律的業務遂行ができる体制を3年がかりで構築していく所存です。

目標を失いがちのこういうときこそ、当社の経営理念である「UEXの志」を再確認し、当社が未来に向かって持続的に成長し続けるよう、こうした内と外の改革を進めるつもりでありますので、今後とも株主の皆さまのご理解とご支援を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

2009年11月

代表取締役社長 押本 俊明

事業の概況

当第2四半期（2009年4月1日～2009年9月30日）におけるわが国経済は、輸出や生産に回復傾向が見られるものの、設備投資の減少や雇用情勢の悪化など依然として厳しい状況で推移しました。

このような状況のなか、当社企業集団の連結業績は、中核であるステンレス鋼その他金属材料の販売事業において、企業の設備投資抑制などによる需要減少の影響を強く受け、売上高は前年同期に比べ46.7%減少の16,736百万円となりました。利益面につきましては、売上高の減少、販売価格の下落による売上総利益率の低下などにより営業損益は1,706百万円の損失（前年同期は840百万円の利益）、経常損益は1,767百万円の損失（前年同期は726百万円の利益）、四半期純損益は1,682百万円の損失（前年同期は446百万円の利益）となりました。

ステンレス鋼その他金属材料の販売事業

ステンレス鋼の販売数量が前年同期に比べ約30%減少するとともに、少ない需要の取り合いによる競争激化により販売価格が前年同期に比べ約25%低下したことなどにより、売上高は16,100百万円と前年同期比46.5%減少しました。このように売上高が減少し

たことと販売価格が下落したことに加え「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用による損失187百万円（第2四半期末）もあり売上総利益が減少したため、営業損益は1,602百万円の損失（前年同期は735百万円の利益）となりました。

ステンレス鋼その他金属加工製品の製造・販売事業

建築分野での需要の落ち込みと自動車部品関連における在庫調整により、売上高は270百万円と前年同期

比41.1%減少、営業損益は33百万円の損失（前年同期は10百万円の利益）となりました。

機械装置の製造・販売及びエンジニアリング事業

景気後退に伴う企業の設備投資抑制・延期などの影響を受け、機械装置の製造・販売事業及びエンジニアリング事業の売上高は366百万円と前年同期比56.7%

減少、営業損益は91百万円の損失（前年同期は70百万円の利益）となりました。

セグメント別会社一覧

（単位：百万円）

事業区分	会社名	資本金	出資比率 (%)	売上高		事業内容
				09/9実績	08/9実績	
ステンレス鋼などの販売	UEX (当社)	1,512	—	16,736	31,380	ステンレス鋼などの在庫加工販売
	UEX管材	12.8	79.4	385	821	鋼管、鋼材、継手類の販売
	日進ステンレス	20	100	214	687	半導体装置用ステンレス鋼管の販売事業
	ナカタニ ^(※)	10	33.6	2,162	1,929	鋳造品・鍛造品・機械部品などの設計・加工
	SPEX ^(※)	10,000千NT\$	40	666千NT\$	—	チタン展伸材などの輸入販売
加工製品の製造・販売	ステンレス急送	10	100	175	200	貨物自動車運送業
	大崎製作所	15.5	100	275	371	有圧換気扇ウェザーカバーのOEM生産
機械装置 エンジニアリング	上海UEX	1,520千US\$	100	561千元	6,017千元	鋼管加工製品の製造・販売
	上野エンジニアリング	60	90	352	729	一般産業用機械装置の設計・製作
	三益UEX	10	100	160	176	鋼管製造用機械の製造・販売

(※)は持分法適用会社

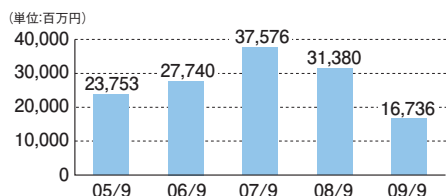
特集記事

高付加価値化～強靱な経営基盤の構築を目指して

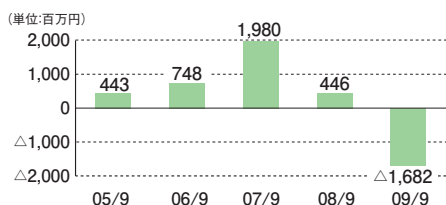
当社は55年にわたりステンレス・チタンのスペシャリストとして鋼材を仕入れ、在庫し、それを販売するといった問屋機能を主な生業としてきましたが、ステンレス製造に欠かせないニッケル、鉄鉱石、スクラップ、石炭などの資源の価格が大きく変動するなど、外部環境の変化によって業績が大きく左右されるという業界特有の体質からの脱却が近年の課題となりました。

外部環境の変化のうち、BRICsの台頭などにみられる経済のグローバル化の影響は今後も避けられませんが、外部環境から過度に影響を受けることをできるだけ避けるために近年始めた取り組みのひとつが高付加価値化です。売上に占める割合はまだ微量ですが他社との差別化のため、また外部環境から過度に影響を受けない強靱な基盤を築くため、今後さらに力を入れていきたいと考えている分野です。

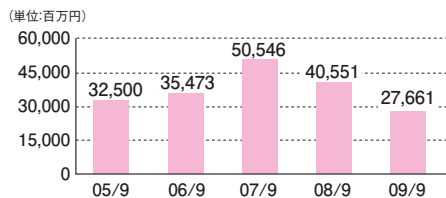
連結売上高 (第2四半期累計)



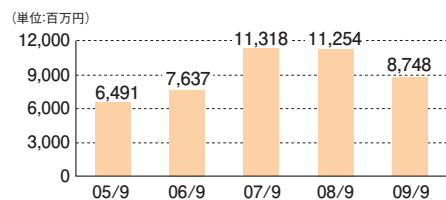
連結四半期純利益 (第2四半期累計)



総資産



純資産



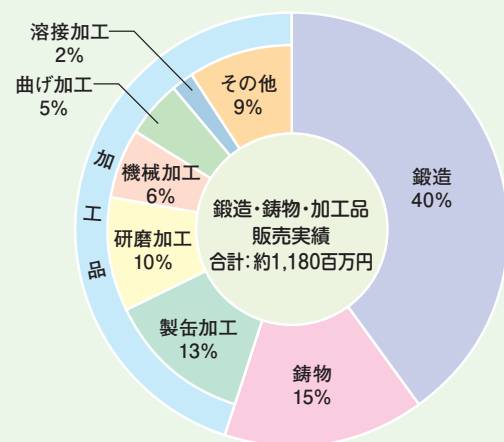
経営戦略としての高付加価値化

外部環境に左右されない事業基盤の確立

顧客ニーズ対応力強化による独自の競争力の発揮

当社における高付加価値化とは？

鍛造・鋳物・加工品販売実績 (単体ベース) 構成比 (第56期上半期)



単に在庫してある製品を提供するだけの販売体制ではなく、さらに製品に価値を付けてお客さまへ提供する体制にすること。

例えば鋼材に穴を開ける・曲げる・溶接する・研磨するといったいわばユーザーサイドに立った川下展開をすることで、お客さまの要望をより充たした製品が提供できることを目標としています。そのためにはお客さまのNEEDS・WANTSを把握し、それに的確にこたえることが大切。これまで培ってきたお客さまとの信頼関係をベースに、顧客満足度を向上させ独自の競争力をつけることで他社との差別化を図り、価値ある製品とお客さまに高く評価されることを目指しています。



※販売実績は多岐にわたり、多くのお客さまのニーズにおこたえています。

会社概要

(2009年9月30日現在)

社名 株式会社UEX
 英文商号 UEX, LTD.
 設立 1955年1月14日
 代表者 押本 俊明
 資本金 15億1,215万円
 従業員数 315名 (2009年9月30日現在)
 主要販売先 (株)東芝 (株)IHI (株)荏原製作所
 新日鉄エンジニアリング(株)
 三菱重工業(株)
 主要仕入先
 〈メーカー〉 新日鐵住金ステンレス(株) 新日本製鐵(株)
 住友金属工業(株) 大同特殊鋼(株)
 山陽特殊製鋼(株) 愛知製鋼(株)
 〈商社〉 (株)メタルワン 住友商事(株)
 三井物産スチール(株)
 NSステンレス(株) 伊藤忠丸紅鉄鋼(株)

本社 〒140-8630 東京都品川区東品川2-2-24
 天王洲セントラルタワー 5F
 TEL 03(5460)6500
 FAX 03(5460)6409
 大阪支店・大阪配送センター
 九州支店・九州配送センター
 北陸支店・北陸配送センター
 東北支店・東北スチールサービスセンター
 名古屋営業所・名古屋配送センター
 関東営業所
 東海営業所
 三島スチールサービスセンター
 第一伊勢原スチールサービスセンター
 第二伊勢原スチールサービスセンター
 東京配送センター

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月
 定時株主総会基準日 毎年3月31日
 期末配当基準日 毎年3月31日
 中間配当基準日 毎年9月30日
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社
 証券代行部
 〒137-8081 東京都江東区東砂
 七丁目10番11号
 電話 0120-232-711 (通話料無料)
 上場証券取引所 ジャスダック証券取引所
 公告の方法 東京都において発行する日本経済新聞
 当社は、貸借対照表ならびに損益計算書を当社ホームページに掲載いたしております。
<http://www.uex-ltd.co.jp/>

株式の状況

(2009年9月30日現在)

■発行可能株式総数 36,000,000株
 ■発行済株式の総数 12,000,000株
 ■株主数 3,112名

■大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
株式会社メタルワン	1,708千株	14.3%
住友商事株式会社	1,200千株	10.0%
新日鐵住金ステンレス株式会社	696千株	5.8%
株式会社みずほ銀行	548千株	4.6%
上野竹枝	393.1千株	3.3%
UEX社員持株会	374.9千株	3.1%
三井物産株式会社	368千株	3.1%

(注) 出資比率は、自己株式(22,360株)を控除して計算しております。

ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



〒140-8630 東京都品川区東品川2-2-24
 Tel.03-5460-6500 Fax.03-5460-6409



地球環境に配慮した大豆油インキを使用しています